

第2回 『沖縄とともに東アジアの平和を準備する』

いま世界の平和の焦点はウクライナ、ガザ、台湾である。我々はウクライナ、ガザに対しても適切な注視、関与を続けなければならないが、我々の注視、関与がもっとも必要なのは東アジアである。我々の課題は「台湾有事」を防ぐことである。万一「台湾有事」が起きた場合、沖縄は再び戦場となる。沖縄の人々はこのことを痛いほど自覚している。

そもそも沖縄も台湾も17世紀以来、帝国の狭間で帝国に翻弄されてきた。東アジアの中央に位置する沖縄は、過去80年の間、日本および米国によって軍事的な役割を押し付けられてきたが、沖縄の人々はそれに非暴力的に抵抗し、東アジアの平和的経済的ネットワークの結節点になろうとしている。6月23日＝沖縄の慰霊の日を翌日にひかえて、「沖縄の人々とともに東アジアの平和を準備する道筋」について考えたい。



きみじま あきひこ

講師:君島 東彦 氏

立命館大学国際関係学部教授、国際平和ミュージアム館長

専門は憲法学、平和学。日本国憲法の平和主義を平和学、NGO、東アジアの視点でとらえて活かすことを課題としている。2007年からノーベル平和賞候補者をノミネートしている。2023年度、「沖縄県の地域外交に関する万国津梁会議」(沖縄県の有識者会議)の委員長をつとめた。

日時

2024年6月22日(土) 13:00~14:30

※15:00より、立命館大学国際平和ミュージアムを見学します。

会場

立命館大学 衣笠キャンパス

平井嘉一郎記念図書館 カンファレンスルーム

※市バス立命館大学前下車 正門を入れて徒歩3分、図書館入ってすぐ左です。



参加費: 無料(ただし資料代500円) 申込: 不要
問合せ先: 080-9079-7195 (事務局:桂良太郎)
WEB: GN21ネット(<http://www.gn21.net>)